様式第６号の２

事業報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 企業名 |  |
| １　補助区分※3 | 大規模支援　　・　　小規模支援 |
| ２　事業の実施状況※4 | （１）導入した設備等の名称、型番、金額 |
|  |
| （２）取り組んだ内容 |
|  |
| ３　事業の成果※5 | （１）定性的効果 |
|  |
| （２）定量的効果 |
|  |
| （３）投資回収期間 |
|  |
| ４　事業場内最低賃金時給換算額※6 | 基準となる締日又は支給日（a） | 補助事業終了時直近の締日又は支給日（b） | 賃金引き上げ額（b-a） |
| 令和○年○月 | 令和○年○月 |
|  | 円 |  | 円 |  | 円 |
| ５　今後の課題と取組み予定※7 |  |

＜事業報告書 記載要領＞

※1　本事業により購入等を行った機械装置・治具等の写真等（装置等の全体像が分かるもの、装置等に本補助金で購入したことを示すシール等を貼付したもの）を添付してください。

※2　用紙が足りない場合は適宜追加（目安：５枚以下。）してください。

※3　該当する方を選択してください。

※4　生産性向上を効果的に図るために取組んだ内容を、様式第1号の４事業計画書「３　事業の具体的な内容」に沿って、具体的に記入してください。

※5　「２　事業の実施状況」により生産性向上の取組みを実施した結果、どのように生産性向上が図られたのか(定性的、定量的）を具体的(5W1H)に記入してください。

※6　時給換算額は、次の計算方法で計算してください。

（基本賃金＋最低賃金の対象となる手当）÷１か月平均所定労働時間

＊　最低賃金の対象となる賃金は毎月支払われる基本的な賃金であり、実際に支払われる賃金から次の賃金を除外したものとする

・　臨時に支払われる賃金(結婚手当　等)

・　１か月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与　等)

・　所定労働時間を超える時間の労働に対して支払われる賃金(時間外割増賃金　等)

・　所定労働日以外の日の労働に対して支払われる賃金(休日割増賃金　等)

・　午後１０時から午前５時までの間の労働に対して支払われる賃金のうち、通常の労働時間の賃金の計算額を超える部分(深夜割増賃金　等)

・　精皆勤手当、通勤手当及び家族手当

＊　金額の根拠が分かる賃金台帳の写しを添付すること

※7　今後の経営課題解決や生産性向上に向けた取組み予定を、具体的(5W1H)に記入してください。